



2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月2日

上場会社名 いであ株式会社

上場取引所 東

コード番号 9768 URL <https://ideacon.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田畑 彰久

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 大石 敏

TEL 03-4544-7600

四半期報告書提出予定日 2021年8月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	15,306	2.0	3,147	11.0	2,938	6.8	1,894	2.3
2020年12月期第2四半期	15,012	6.7	2,836	0.1	2,752	4.8	1,851	5.7

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 1,959百万円 (16.0%) 2020年12月期第2四半期 1,689百万円 (11.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	265.31	
2020年12月期第2四半期	259.28	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	29,388	20,088	68.3	2,813.54
2020年12月期	26,758	18,343	68.5	2,569.04

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 20,086百万円 2020年12月期 18,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		30.00	30.00
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,400	1.9	2,170	0.1	2,190	3.8	1,470	9.3	205.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	7,499,025 株	2020年12月期	7,499,025 株
期末自己株式数	2021年12月期2Q	359,679 株	2020年12月期	359,491 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	7,139,466 株	2020年12月期2Q	7,139,581 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により依然として厳しい状況のなか、各種政策の効果や海外経済の改善もあって持ち直しの動きがみられているものの、感染拡大地域を対象に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が断続的に発令されるなど、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く市場環境は、令和2年度の政府補正予算と令和3年度予算において、防災・減災対策、国土強靱化の推進、自然災害からの復旧・復興の加速、インフラ老朽化対策の推進、気候変動対策、自然との共生・生物多様性の保全と持続可能な利用、環境リスクの管理等の当社グループの強みを活かせる分野に重点配分されており、比較的堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、安全・安心で持続可能な社会の実現、サステナビリティを重視した事業展開の推進、コンサルタントとしての技術力の総合化・多様化・高度化、さらには企業価値の向上を目標に事業を推進してまいりました。

また、当社グループは、2019年から2021年までの第4次中期経営計画において、「イノベーションとマーケティングによる市場創生・新規事業の展開と海外事業の拡大」をスローガンに掲げ、①新規事業の創出・新市場の開拓と技術開発の推進、②イノベーションやマネジメントを担える人材の確保・育成、③基幹事業分野の強化、④海外事業の拡大と海外展開の推進、⑤民間・個人市場への展開、ものづくりの推進、⑥I o T・ロボット・AI等先端技術の利活用、⑦働き方改革の推進、⑧組織の一体化・効率化とガバナンス体制の強化、の8つの重要な経営課題に取り組むことにより、強い経営基盤の構築と安定的な成長を目指してまいりました。さらには、新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、昨年、食品・生命科学研究所（大阪市住之江区）及び環境創造研究所（静岡県焼津市）を衛生検査所として登録してPCR検査の体制を整備し、社会的な要請に応えるとともに、社員の健康や安全を確保して企業活動を継続してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における連結業績については、受注高は再生可能エネルギー関連の環境調査や防災・減災関連業務、インフラ施設的设计・維持管理関連業務等の受注が増加したことにより、前年同四半期比18億6千8百万円増加の130億4千6百万円（前年同四半期比16.7%増）となり、受注残高は受注高の増加により、同30億4千3百万円増加の188億4千6百万円（同19.3%増）となりました。

売上高は新型コロナウイルス感染症拡大の影響は軽微に留まり、大規模な海洋環境調査や海底資源開発に係る調査、防災・減災関連業務、インフラ施設的设计・維持管理関連業務等の売上が増加したことにより、同2億9千4百万円増加の153億6百万円（同2.0%増）となりました。

売上高の増加及び工程管理の徹底や原価・経費の削減に努めた結果、営業利益は前年同四半期比3億1千万円増加の31億4千7百万円（前年同四半期比11.0%増）、経常利益は同1億8千6百万円増加の29億3千8百万円（同6.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は同4千3百万円増加の18億9千4百万円（同2.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメント間取引を含んでおります。）

(環境コンサルタント事業)

同事業は、当社及び連結子会社4社（新日本環境調査(株)、沖縄環境調査(株)、東和環境科学(株)、以天安（北京）科技有限公司）が行っている事業であり、環境アセスメント及び環境計画部門、環境生物部門、数値解析部門、調査部門、環境化学部門、気象・沿岸部門の6部門より構成されております。

売上高は前年同四半期比3百万円増加の101億2千万円（前年同四半期比0.0%増）となり、工程管理の徹底や原価・経費の削減に努めた結果、セグメント利益は同5千3百万円増加の19億3千7百万円（同2.9%増）となりました。

(建設コンサルタント事業)

同事業は、当社が行っている事業であり、河川部門、水工部門、道路部門、橋梁部門、海外部門の5部門より構成されております。

近年頻発する豪雨災害への対応等の防災・減災関連業務や橋梁等のインフラ施設の設計・維持管理関連業務等の売上が増加したことにより、売上高は前年同四半期比3億円増加の48億1千5百万円(前年同四半期比6.7%増)となり、売上高の増加及び工程管理の徹底や原価・経費の削減に努めた結果、セグメント利益は同2億3千3百万円増加の10億8千4百万円(同27.4%増)となりました。

(情報システム事業)

同事業は、当社が行っている事業であり、システム開発及び画像解析等の事業を行っております。

売上高は前年同四半期比2百万円増加の2億9千6百万円(前年同四半期比0.9%増)となり、工程管理の徹底や原価・経費の削減に努めた結果、セグメント利益は同2千7百万円増加の5千9百万円(同86.8%増)となりました。

(不動産事業)

同事業は、当社が行っている事業であり、赤坂のオフィスビル、旧大阪支社跡地等の不動産賃貸事業を行っております。

売上高は前年同四半期比1千万円減少の1億1千6百万円(前年同四半期比8.5%減)、セグメント利益は同4百万円減少の6千6百万円(同5.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比べ26億3千万円増加の293億8千8百万円(前年同四半期比6.6%増)となりました。

流動資産につきましては、主に売上債権の回収及び前受金の増加により現金及び預金が60億9千2百万円増加、受取手形及び営業未収入金が8億2千1百万円減少、第2四半期に完工業務が集中することから仕掛品が28億1千4百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ25億8百万円増加の130億3千6百万円(前年同四半期比11.4%増)となりました。

固定資産につきましては、主に建物の増加8億3千8百万円、有形固定資産その他の減少5億4千2百万円、投資有価証券の減少1億8千万円により、前連結会計年度末に比べ1億2千1百万円増加の163億5千2百万円(前年同四半期比3.1%増)となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比べ8億8千5百万円増加の93億円(前年同四半期比5.3%増)となりました。

流動負債につきましては、主に支払手形及び営業未払金が5億4百万円減少、税金等調整前四半期純利益の計上による未払法人税等が7億4千万円増加、流動負債その他が6億8千8百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ9億3千5百万円増加の62億1百万円(前年同四半期比27.6%増)となりました。

固定負債につきましては、繰延税金負債が1千2百万円減少、役員退職慰労引当金が1千2百万円減少、固定負債その他が1千3百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ5千万円減少の30億9千8百万円(前年同四半期比21.9%減)となりました。

(純資産)

純資産につきましては、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が16億7千9百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ17億4千5百万円増加の200億8千8百万円(前年同四半期比7.2%増)となりました。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当四半期連結会計期間末は、前連結会計年度末に比べ0.2ポイント低下の68.3%(前年同四半期は68.0%)となり、また、支払能力を示す流動比率は、前連結会計年度末に比べ10.3ポイント上昇の210.2%(同240.8%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ60億9千3百万円増加(前年同四半期は63億3千8百万円の増加)の84億8千8百万円(前年同四半期は75億1百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

獲得した資金は71億4千5百万円(前年同四半期は77億4千6百万円の獲得)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益29億3千8百万円、非資金支出費用である減価償却費3億6千4百万円、たな卸資産の減少額28億2千1百万円、売上債権の減少額8億2千1百万円、前受金の増加額5億9千1百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

使用した資金は8億1千万円(同2億5千1百万円の使用)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出7億9千9百万円、無形固定資産の取得による支出3千9百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

使用した資金は2億4千8百万円(同11億5千3百万円の使用)となりました。これは主として、社債の償還による支出2千5百万円、配当金の支払額2億1千2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回の業績予想(2021年2月8日発表「2020年12月期決算短信」)から変更はありません。

なお、第2四半期連結累計期間において、売上高は153億6百万円(前年同四半期比2.0%増)となり、通期予想売上高204億円の75.0%を計上いたしました。また、例年、当社グループの売上高は上半期に集中する季節変動特性を有しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,394,267	8,486,979
受取手形及び営業未収入金	1,260,702	439,004
有価証券	946	1,399
仕掛品	6,715,934	3,901,689
貯蔵品	48,090	41,049
その他	116,410	173,530
貸倒引当金	△8,621	△7,326
流動資産合計	10,527,729	13,036,327
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,009,066	4,847,857
土地	7,777,542	7,777,542
その他（純額）	1,579,578	1,037,241
有形固定資産合計	13,366,187	13,662,641
無形固定資産	62,371	99,397
投資その他の資産		
投資有価証券	1,825,620	1,645,078
繰延税金資産	8,906	11,509
その他	1,015,075	981,478
貸倒引当金	△47,736	△47,736
投資その他の資産合計	2,801,866	2,590,331
固定資産合計	16,230,426	16,352,369
資産合計	26,758,156	29,388,696
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,122,179	617,759
1年内償還予定の社債	1,025,000	1,000,000
未払法人税等	425,742	1,165,907
賞与引当金	97,216	133,862
受注損失引当金	3,798	3,334
その他	2,591,960	3,280,835
流動負債合計	5,265,898	6,201,699
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
繰延税金負債	89,895	77,020
役員退職慰労引当金	340,969	328,766
退職給付に係る負債	2,481,356	2,469,710
その他	136,946	123,374
固定負債合計	3,149,166	3,098,871
負債合計	8,415,064	9,300,570

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,173,236	3,173,236
資本剰余金	3,352,573	3,352,573
利益剰余金	11,565,163	13,245,154
自己株式	△139,870	△140,213
株主資本合計	17,951,103	19,630,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	364,489	416,263
為替換算調整勘定	285	18,706
退職給付に係る調整累計額	25,867	21,094
その他の包括利益累計額合計	390,642	456,064
非支配株主持分	1,345	1,311
純資産合計	18,343,091	20,088,126
負債純資産合計	26,758,156	29,388,696

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	15,012,576	15,306,733
売上原価	10,192,076	9,995,358
売上総利益	4,820,499	5,311,375
販売費及び一般管理費	1,983,807	2,163,733
営業利益	2,836,692	3,147,641
営業外収益		
受取利息	546	511
受取配当金	10,385	12,379
受取保険金及び配当金	8,857	9,532
保険解約返戻金	19,680	17,234
その他	11,758	18,557
営業外収益合計	51,229	58,215
営業外費用		
支払利息	3,581	2,152
持分法による投資損失	21,192	21,265
投資事業組合運用損	104,095	239,559
支払保証料	1,698	1,514
その他	4,935	2,845
営業外費用合計	135,504	267,336
経常利益	2,752,417	2,938,519
特別利益		
固定資産売却益	67,704	—
特別利益合計	67,704	—
特別損失		
固定資産除却損	83,992	—
特別損失合計	83,992	—
税金等調整前四半期純利益	2,736,128	2,938,519
法人税、住民税及び事業税	824,406	1,070,682
法人税等調整額	60,663	△26,198
法人税等合計	885,070	1,044,484
四半期純利益	1,851,058	1,894,035
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△98	△141
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,851,156	1,894,176

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	1,851,058	1,894,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△155,397	51,773
為替換算調整勘定	△1,958	5,995
退職給付に係る調整額	281	△4,772
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,756	12,532
その他の包括利益合計	△161,831	65,529
四半期包括利益	1,689,227	1,959,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,689,364	1,959,598
非支配株主に係る四半期包括利益	△136	△33

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,736,128	2,938,519
減価償却費	387,111	364,735
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,925	△12,203
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△43,416	△11,645
賞与引当金の増減額(△は減少)	38,424	36,645
受取利息及び受取配当金	△10,931	△12,890
支払利息	3,581	2,152
持分法による投資損益(△は益)	21,192	21,265
固定資産売却損益(△は益)	△67,704	-
固定資産除却損	83,992	1,519
投資事業組合運用損益(△は益)	104,095	239,559
売上債権の増減額(△は増加)	1,679,393	821,698
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,880,558	2,821,284
仕入債務の増減額(△は減少)	△363,957	△504,420
前受金の増減額(△は減少)	606,788	591,667
その他	72,722	201,249
小計	8,130,907	7,499,137
利息及び配当金の受取額	10,931	12,890
利息の支払額	△3,613	△2,164
法人税等の支払額	△392,054	△366,023
法人税等の還付額	-	1,421
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,746,170	7,145,260
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△374,974	△799,573
有形固定資産の売却による収入	87,663	-
無形固定資産の取得による支出	-	△39,270
投資有価証券の取得による支出	△2,550	△3,234
貸付けによる支出	△2,000	△2,100
貸付金の回収による収入	438	498
その他	39,951	33,377
投資活動によるキャッシュ・フロー	△251,471	△810,302
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△900,000	-
社債の償還による支出	△25,000	△25,000
自己株式の取得による支出	△197	△343
配当金の支払額	△213,235	△212,997
その他の支出	△15,404	△10,566
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,153,837	△248,907
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,877	7,114
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,338,985	6,093,165
現金及び現金同等物の期首残高	1,162,791	2,395,213
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,501,776	8,488,379

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,108,139	4,514,298	293,495	96,642	15,012,576	—	15,012,576
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,355	—	—	30,346	39,701	△39,701	—
計	10,117,495	4,514,298	293,495	126,988	15,052,278	△39,701	15,012,576
セグメント利益	1,883,150	851,243	32,102	70,196	2,836,692	—	2,836,692

(注)1セグメント間取引消去によるものであります。

2セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,109,608	4,815,158	296,084	85,881	15,306,733	—	15,306,733
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,348	—	—	30,306	41,654	△41,654	—
計	10,120,957	4,815,158	296,084	116,187	15,348,387	△41,654	15,306,733
セグメント利益	1,937,090	1,084,550	59,972	66,027	3,147,641	—	3,147,641

(注)1セグメント間取引消去によるものであります。

2セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。